執行方針

【要約版】



町長　外崎　秀人

新型コロナウイルスの一日も早い収束。ポストコロナを見据えた次の成長戦略では、「脱炭素社会実現」と「行政システムのデジタル化」を打ち出した成長戦略に基づき、令和3年度行政執行方針については、国の予算編成方針や関連施策の動向を注視し、的確な町政執行に努めてまいります。



■総務財政関係

的確な行政サービス実現のため、多様な人材確保に努め、独自の研修制度として道東・羅臼町との1年間の職員相互交流を実施し、行政の振興発展に努めてまいります。

令和3年度予算については、各種計画に基づくほか、感染症対策の所要額を含め編成。

各会計の予算総額は97億6937万7千円となり、前年度当初予算と比較6億7972万5千円、7.5％増となったところです。

■税務住民関係

印鑑登録証の再交付に係る手数料を、住民負担の公平性の観点などから一部改正を提案します。

収納対策については、税負担の公平性と納税の更なる推進を図り、延滞金の徴収強化とともに、納期内納税の推進に取り組んでまいります。

■まちづくり推進関係

計画初年度となる第6次総合計画は、計画の着実な実行のため、周知、啓発に意を配してまいります。

今金町史編さんについては下巻発行以来27年が経過し、将来のまちづくりに繋げるため専任職員を配置し編さんに向けて取り組んでまいります。

クアプラザピリカの運営については、体験型観光の強化を図り、適宜、経営の改善に取り組んでまいります。

■くらし安心関係

大規模な自然災害が発生し、避難所の開設が必要となる場合、避難所運営マニュアル及び新型コロナウイルス等の感染症対策ガイドラインを基に役割の認識共有、有事への備えに努めてまいります。

光ファイバー整備については、地域の課題解決に欠かせない情報通信インフラを担うものであり、専門的知見と経験を有する事業者と連携を図りながら取り組んでまいります。

■保健福祉関係

令和3年度からは新たな今金町保健福祉総合計画がスタートする年となります。すべての人が「我が町」「我が地域」を考え、知恵を出し合い参加できる福祉のまちづくりを目指してまいります。

介護に関わる人材の確保と定着は喫緊の課題となっております。就業に対する支援、住居に対する支援、資格取得に対する支援を柱とした「今金町福祉スタッフ確保支援事業」を展開し、キャリアアップと就労の定着化を図ります。

新型コロナウイルスワクチン接種については、国から示されている接種順位を踏まえ、ワクチンの有効性・安全性について周知を図り、円滑に接種いただけるよう努めてまいります。

■農林振興関係

GPSガイダンス・自動操舵システム等を積極的導入し、スマート農業の推進を図ります。

酪農畜産関係では、今年度から4か年計画で草地整備事業を行い、良質粗飼料の確保と飼料自給率向上を図ります。

米政策では、主食用米を主体に作付けし、必要に応じて非主食用米の作付けを推進してまいります。また、直接支払交付金等を活用し、農業者の収益向上を図り、安定的に経営が出来るよう努めてまいります。

林業関係については、森林整備の適正管理に努め、管理が停滞している民有林については、森林所有者に理解を求めて森林環境譲与税を活用し森林整備を促進してまいります。

令和3年度 今金町行政

■国営緊急農地再編整備事業関係

工事8年目となる、今金南地区では、今年度八束地区と八鈴地区で96ヘクタールの区画整理工事が行われます。また、今金北地区では、神丘共和地区のほか神丘中央地区・鈴岡地区、更に豊受地区102ヘクタールの区画整理工事を予定しています。

換地業務については、昨年度から始まった確定測量を、鈴金・豊田地区に加え、田代・稲穂地区においても着手いたします。

■公共土木関係

社会資本整備総合交付金事業及び道路メンテナンス事業については、関係機関と連携しながら早期に事業完了ができるよう努めてまいります。

今年度は、冬期間の交通網確保のために除雪ドーザ13t級の更新を予定しており、高美公園整備工事については、融雪後に遊具とベンチの設置を行い張芝の活着状況を点検し、6月下旬の供用開始を予定しております。

■国民健康保険関係

健診等による病気の早期発見、早期治療等の予防対策の強化に努め、国保財政の安定に努めてまいります。

保険料の賦課決定については、本年度、北海道国民健康保険運営方針の改定に伴い、納付金額の増加が見込まれることから、第2回定例会に保険税率の提案を予定しております。

■後期高齢者医療関係

国保データベースを活用し、被保険者の健康増進と介護予防への取り組みを引き続き実施してまいります。

今後も、広域連合と相互に協力しながら、現行制度の安定的かつ円滑な運営に努めてまいります。

■介護保険関係

本年度から「住み慣れた自分の地域で元気に暮らし続けることができるまちづくり」をテーマとした第8期今金町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がスタートします。有機的かつ一体的に持続可能な介護保険の運営を推進してまいります。

介護保険料については、大幅な引き上げが避けられない状況であり、保険料の引き上げが見込まれております。

今後も被保険者へのご理解をいただきながら、ニーズに適切に対応していくため、環境の整備に努めてまいります。

■介護老人保健施設関係

本年度は、介護報酬改定の年度であり、地域包括ケアシステムの推進や自立支援・重度化防止の取り組みの推進を図ることがあげられました。

高齢化社会が一層深刻化する中、当施設の役割はますます重要となることから、公営企業の目的である住民の福祉向上のため、施設従事者の体制を確保して利用者一人ひとりの目的に沿った質の高いサービスの提供に取り組んでまいります。

■国保病院関係

本年度は、電子カルテ・オーダリングシステムの導入など院内環境の改善にも着手し、更なるサービス向上に図ってまいります。

感染症対策については、24時間体制にてスタッフ一丸となり対応していますが、町内医療機関や保健福祉部局との連携を図り、円滑なワクチン接種が開始となるよう進めてまいります。

今後も社会の変化に対応しつつ、地域のニーズにあった病院経営を目指してまいります。

■簡易水道事業関係

令和5年度までに、従来の官庁会計から公営企業会計に移行することとし、本年度より移行作業を予定しているところであります。

町民の皆様が安心して日常生活を営んでいただけますよう、常に安全で良質な水道水を供給できることを目指し、適正な維持管理と安定した運営に努めてまいります。

■公共下水道事業関係

今金公共下水道（雨水）新設工事については、今金中学校改築事業の関連工事として実施するものでありますが、令和3年度から今金中学校改築工事着工が予定されていることから、改築工事の影響区間となる延長約140mの整備を予定しております。

公共下水道及びMICS処理については、今後も自然環境保全と生活環境の向上や経費節減に努めた維持管理を行ってまいります。

人口減少に伴い地方自治体の運営は確実に縮小基調へと変化していかなければならない状況であります。更には、相次ぐ自然災害の発生や新型コロナウイルス感染症などにより社会全体に閉塞感や不安感が漂っております。

町民の日々の暮らしに最も身近な立場で向き合うのは市町村であり、役割と責任は、ますます重みを増してきております。ここに述べてきた諸施策の実現に向け、全力を傾注してまいります。